



令和6年(2024年)

2月2日(金)発行

〒080-2475

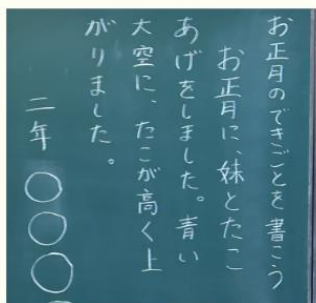
帯広市西25条南2丁目9番地1

TEL 0155 (37) 2028

FAX 0155 (37) 3768

学校ホームページ <http://www.obihiro-sb.hokkaido-c.ed.jp>

その「見える」は……



見える?

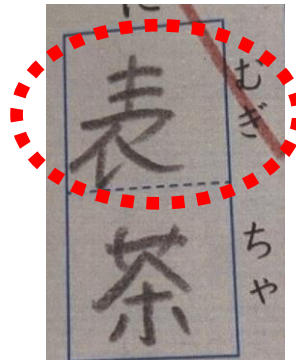
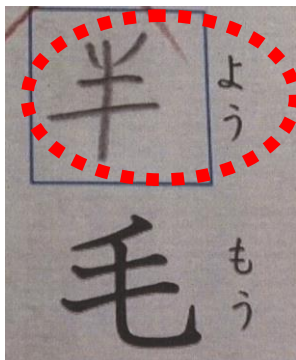
はい
見えます!

このように見えることはないでしょうか?

その「見える」はもしかすると「(ぼんやりと) 見える」になっているのかも?

小さい頃から、ピントが合わずにぼんやりとしたものを見てみると、いつの間にかその**ぼんやりと『見える』**が本人にとっての普通になって、見えづらくなっていてもなかなか自分では気付けません。例えば、教室の黒板の文字が見えづらい場合(*イラスト上段)

例えば、机上の教科書やプリントの文字が見えづらい場合(*イラスト下段)
見えづらさをそのままにしておくと、学習に大きな支障が生じてきます。代表的なものは文字の形を誤って覚えてしまう(誤学習)が起こりやすくなります。



左の「ようもう」を「羊」でなく「半」と書き間違えたり、「むぎちゃ」を「麦茶」でなく「表茶」と書き間違えたりと、弱視で見えづらくなっていると細部の確認ができず、**多分こうだろう**と間違ったまま漢字の形を覚えてしまいますし、そういった事が積み重なると、学習に支障が生じてきます。

上記のような「見える」「(ぼんやりと) 見える」で、気になることがありましたら、帯広盲学校へご相談ください。今回は(学齢期)の相談についての内容でした。次号は、乳幼児の相談についての内容を掲載いたします。(文責 土屋)